

新聞読んだ 考えた

2025年1月13日付17面「東日本大震災14年 成人式 亡き娘と“再会” 宮城・石巻 佐藤さん 絵の中、笑顔の晴れ着姿」 宮城県石巻市の佐藤美香さん(49)は1月12日、東日本大震災で亡くなった長女愛梨ちゃん＝当時(6)＝が出席するはずだった20歳の成人式会場で1枚の絵を受け取った。幼稚園の時の無邪気な顔しか想像できなかった娘が、絵の中で「成人」になっていた。

八戸学院光星高3年

石田 紗雪さん



震災14年 命大切に生きる

東日本大震災でたくさん
の命が失われていった20
11年。当時はまだ幼い子
どもだった人たちが今年、
成人式を迎えたことに感動
しました。

当時(6)の振り袖姿を
画家の方が約1・6倍の高
さの麻布に描き、この絵が
成人式会場に飾られたそう
です。たくさんの人に見守
られながら温かい成人式に
参加できて、愛梨ちゃんは
とても幸せだろうなと思ひ
ました。

震災から14年が経過し、
当時を思い出すことが少な
くなる中で、この記事を見
つけ、震災の影響の大きさ
をあらためて実感しまし
た。そして、年齢や性別な
きたいと思います。

災害はいつ起こるか分か
りません。今自分ができる
対策をしっかりと行い、
「ただいま」「おかえり」
を言い続けられるようにし
たいです。